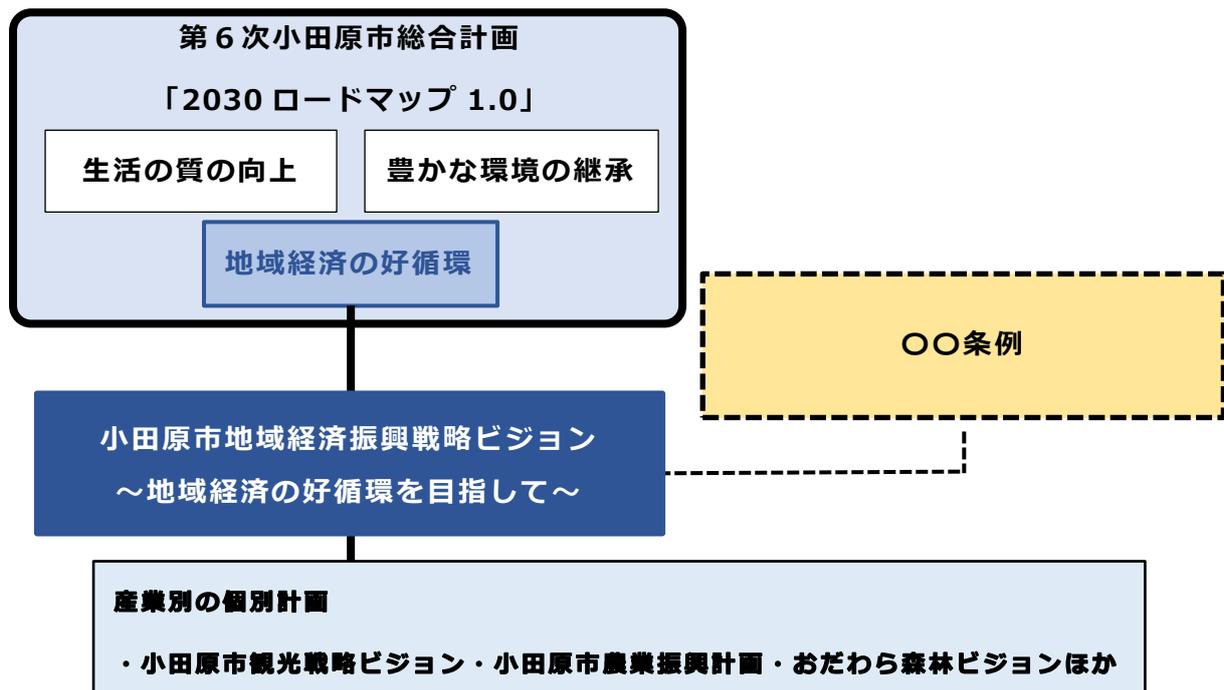


## 小田原市地域経済振興戦略ビジョンの改定について

## 1 概要

地域経済の経営理念として平成23(2011)年度に策定した、小田原市地域経済振興戦略ビジョン(以下、戦略ビジョン)は、計画期間が令和4(2022)年度までであるため第6次小田原市総合計画を踏まえ改定し、現在、策定が進められている条例と両輪で進めていくものとする。



## 2 策定経過

- 7～9月にかけて、市内の経済動向の調査・分析を業務委託により実施
- 市・経済団体・有識者など13人で構成する「小田原市地域経済振興戦略ビジョン策定検討会」を設置し、策定を進めている。

第1回 7/27、第2回 10/17、第3回 11/21

### 3 内 容

(1) 計画期間 令和 5 ～12 年度

(2) 課 題

- ア 消費拡大に向けた対応 : 新たな観光施策の推進、農林水産物の活用、  
地産地消・地域内消費の促進
- イ 企業誘致や企業立地のさらなる推進: 市内事業者の I T ・ D X 化に対する意識醸成、  
情報通信業の立地促進、魅力的な企業の誘致
- ウ イノベーション創出を促進するための場づくり: オープンイノベーションの場づくり、働く  
環境づくりの推進

(3) 基本方針 地域資源を活かした「需要喚起」と「地域内循環」による経済  
の活性化

(4) 取組案

- ア 市内事業者・企業の強靱化: 経営支援・事業承継支援、資金繰り・融資支援、  
社会経済環境変化への取組支援
- イ 付加価値の向上 : 販売戦略・販路開拓、農林水産物の活用、海外展開
- ウ 事業連携の推進 : ビジネスマッチング機会の創出、起業支援体制の  
充実、オープンイノベーションの場づくり
- エ 誘客の推進 : 歴史・文化コンテンツの活用、美食のまちづくり
- オ 企業誘致の推進 : 多角的な企業誘致、働く場の環境づくり

### 4 今後のスケジュール

- 令和 4 年 12 月～5 年 1 月 パブリックコメント
- 令和 5 年 2 月 第 4 回小田原市地域経済振興戦略ビジョン策  
定検討会
- 令和 5 年 3 月 戦略ビジョン改定

## 小田原市観光戦略ビジョンの改定について

### 1 概要

本市の観光を通じた経済振興の指針として平成 27 (2015) 年度に策定した「小田原市観光戦略ビジョン」(以下、戦略ビジョン)は、計画期間が令和 4 (2022) 年度までであるため、観光を取り巻く環境の変化や課題、第 6 次小田原市総合計画「2030 ロードマップ 1.0」や小田原市地域経済振興戦略ビジョンなどの上位計画を踏まえ改定する。

### 2 策定経過

策定にあたり、現戦略ビジョン策定と同様に幅広い意見を取り入れるため、様々な観光関連事業者で組織されている「観光まちづくり推進懇話会」を「小田原市観光戦略ビジョン策定会議」(22 人で構成)として位置づけて策定を進めている。

なお、会議の運営や策定作業にあたっては、業務委託により実施している。

(第 1 回 : 8/29、第 2 回 : 10/4、第 3 回 : 11/17)

### 3 計画期間

令和 5 (2023) 年度から令和 12 (2030) 年度までの 8 年間

### 4 主な内容(参考資料 2-1 [骨子]、参考資料 2-2 [本書])

- (1) 戦略ビジョン策定の趣旨
- (2) 小田原観光の特徴・魅力とストーリー
- (3) 小田原観光の現状と課題
- (4) 戦略ビジョンの基本的な方針
- (5) 戦略ビジョンの施策
- (6) 戦略プロジェクトと施策の内容

### 5 今後のスケジュール

- 令和 4 年 12 月～5 年 1 月 パブリックコメント
- 令和 5 年 2 月 第 4 回小田原市観光戦略ビジョン策定会議
- 令和 5 年 3 月 戦略ビジョン改定

## 美食のまち小田原推進事業について

### 1 目的

民間事業者等と連携し、小田原の豊かな食材や人材の付加価値を高めることで「美食のまち」のイメージを市内外に定着させ、「食」を活用した事業を展開し、事業者の誘致や連携の促進及び観光客の増加と観光消費額の増額等の効果を図り、地域経済を活性化させる。

### 2 小田原市が掲げる「美食」の定義

- ・「豊かで活気あふれる食のこと」
- ・「食への喜びと意識を高めること」

### 3 支援事業者の選定

#### (1) 業務概要

業務名 令和4年度美食のまち小田原推進事業支援業務

業務期間 契約締結日から令和5年（2023年）3月31日まで

業務内容 本事業の目的を達成するための事業計画等の策定に係る企画・運営及びプロモーション・情報発信基盤整備の実施

#### (2) 選定方法

美食のまち小田原推進事業者選定委員会による選考

実施形式：公募型プロポーザル方式

第1回 令和4年（2022年）8月29日：諮問、実施要領等の検討

第2回 令和4年11月14日及び21日：二次審査、優先交渉権者の選定

答申 令和4年11月30日

(3) 参加申込期間 令和4年9月1日から9月22日まで

(4) 参加申込件数 12事業者

(5) 優先交渉権者 小田急電鉄株式会社・UDS株式会社共同企業体

〔 代表者 小田急電鉄株式会社  
所在地 東京都新宿区西新宿1-8-3 〕

#### (6) 選定理由

- ・事業計画の策定では、観光客の増加と観光消費額の増額が見込まれ、事業者同士の連携や企業誘致などの経済的発展につながる提案となっている。

- ・業務遂行に際し、知識、経験、能力、実績を有した担当者が配置され、組織体制づくりとその運営において適正に履行できる体制となっている。
- ・プロモーション・情報発信基盤整備では、発信力と機動力のある手法を用い、実現可能な体制となっている
- ・地域への関与や地産地消による環境負荷軽減などの工夫がなされ、地域や社会への貢献も見込まれる。

#### 4 提案事業の内容

「地域のプレイヤー」による地域の魅力を引き出す仕組みをつくる。

令和4年度は、市内外の情報収集や調査、地域事業者との関係性構築を行い、年度末に調査結果を踏まえたプロジェクトを発足する。令和5、6年度は、事業企画のトライアル実施とP D C Aを繰り返し行い、令和7年度以降の地域事業者による自走化に繋げる。

##### (1) 事業計画案（令和4年度の提案事業）

- ア 小田原エリアの生産者・事業者が集うワークショップイベント
- イ 首都圏シェフ×小田原食材視察・調理密着インタビュー
- ウ 小田原エリアの食文化調査
- エ 食料自給率やフードロスに関する調査
- オ 市民に向けた食に関する調査
- カ 市外在住者に向けた食に関する調査

##### (2) 事業推進組織体制の構築・運営支援

提案事業者が推進事務局の役割を担い、美食アンバサダー、美食リーダー、地域コーディネーター、関係団体等とともに「美食コンソーシアム」を構築する。

##### (3) プロモーション・情報発信基盤整備

- ア ブランディング戦略
  - プロジェクト名称、ロゴ、キャッチコピー制作
- イ プロモーション計画
  - ウェブサイト、フリーマガジン（紙媒体）、Instagram、twitter、小田急線駅広告（車両中吊り広告、駅貼りポスター、沿線フリーマガジン）

## 5 今後のスケジュール

令和4年12月

・支援事業者との協議、業務委託契約締結

令和5年1月～3月

・事業計画検討

・市内外の情報収集・調査

・事業推進組織の設置・開催

・イベントの開催（ワークショップ等）

・市内事業者との関係性構築

・ブランディング戦略

プロジェクト名称、ロゴ、キャッチコピー制作

・プロモーション・情報発信

ウェブサイト公開、SNS 公開、プレスリリース、  
駅広告の展開